

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【公開番号】特開2003-266867(P2003-266867A)

【公開日】平成15年9月25日(2003.9.25)

【出願番号】特願2003-23166(P2003-23166)

【国際特許分類】

B 4 1 J 29/00 (2006.01)

B 6 5 H 31/06 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 29/00 A

B 6 5 H 31/06

G 0 3 G 15/00 5 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

最上端と第1の垂直面を有する構造に使用する媒体処理装置において、

外装の第1の外表面に沿う媒体入口であって、媒体がエンジンに向けて自動的に供給されるとき、前記媒体の一部が前記入口から外にはみ出るよう構成される媒体入口と、外装の第2の外表面に沿う媒体出口と、を有する外装を有し、前記媒体入口と前記媒体出口とが互いに対向する媒体処理エンジンと、

前記エンジンに連結し、前記媒体出口が前記第1の垂直面の最上端より下になるように前記エンジンを前記構造に連結する支持体と、を備え、

前記媒体が垂直方向である間、前記媒体入口が前記媒体を受け取ることを特徴とする媒体処理装置。

【請求項2】

前記構造は、前記垂直面の最上端に沿った頂部を備え、

前記支持体は、前記頂部と反対方向に延在するように構成されることを特徴とする請求項1に記載の媒体処理装置。

【請求項3】

前記支持体は、前記支持体の大部分が前記媒体入口より延在する第1の位置と、前記支持体の大部分が前記媒体入口と前記媒体出口との間に延在する第2の位置と、の間を回動可能であることを特徴とする請求項1に記載の媒体処理装置。

【請求項4】

垂直面に使用する媒体処理装置において、

前記装置の第1の外表面に沿う媒体入口であって、媒体がエンジンに向けて自動的に供給されるとき、前記媒体の一部が前記入口から外にはみ出るよう構成される媒体入口と、前記第1の外表面と反対側に位置する前記装置の第2の外表面に沿う媒体出口と、から構成され、前記媒体が垂直方向である間、前記媒体入口が前記媒体を受け取る媒体処理エンジンと、

前記媒体出口が垂直面の最上端よりも下側に位置するように、前記装置を前記垂直面に

対して支持する手段と、を備えることを特徴とする媒体処理装置。

【請求項 5】

媒体処理方法において、

媒体処理エンジンを有する装置を垂直面に沿って支持することと、

媒体が略垂直方向となっている間、エンジンに前記装置の外表面に沿う媒体入口を通して前記媒体を自動的に供給することと、

媒体上に印刷することと、

前記媒体が略垂直方向に支持されている間、前記エンジンから、前記外表面の媒体入口とは反対に位置する外表面の媒体出口から印刷した媒体を排出することと、を含むことを特徴とする媒体処理方法。

【請求項 6】

頂部を有する壁と水平面とで使用する媒体処理装置において、

媒体処理エンジンと、

前記エンジンを収容する筐体と、

支持体が壁の頂部に掛る第1の位置と、前記支持体が前記水平面上に少なくとも筐体の一部を持ち上げるように前記水平面上に静止する第2の位置と、の間で回動可能に前記筐体に連結する支持体と、

前記支持体が前記第1の位置である場合に、媒体受け部が前記壁に沿って延在する第3の位置と、前記支持体が前記第2の位置である場合に、前記媒体受け部が前記水平面上に沿って延在する第4の位置と、の間で回動可能に前記筐体に連結する回動可能な媒体受け部と、を備えることを特徴とする媒体処理装置。

【請求項 7】

頂部を有する壁と水平面とで使用する媒体処理装置において、

媒体処理エンジンと、

前記エンジンを収容する筐体と、

支持体が壁の頂部に掛る第1の位置と、前記支持体が水平面上に少なくとも筐体の部分を持ち上げるように水平面上に静止させる第2の位置と、の間で回動可能に前記筐体に連結する回動可能な支持体と、を備えることを特徴とする媒体処理装置。

【請求項 8】

頂部を有する壁と水平面とで使用する媒体処理装置において、

媒体処理エンジンと、

前記エンジンを収容する筐体と、

媒体受け部が前記壁に沿って延在する第1の位置と、前記媒体受け部が前記水平面上に沿って延在する第2の位置と、の間で回動可能に前記筐体に連結する回動可能な媒体受け部と、を備えることを特徴とする媒体処理装置。

【請求項 9】

頂部を有する壁と水平面とで使用する媒体処理装置において、

媒体処理エンジンと、

前記エンジンを収容する筐体と、

支持体が前記壁の面に沿って取り付けられる第1の位置と、前記支持体が前記水平面上に少なくとも筐体の一部を持ち上げるように前記水平面上に静止する第2の位置と、の間で回動可能に前記筐体に連結する回動可能な支持体と、

前記支持体が前記第1の位置である場合に、媒体受け部が前記壁に沿って延在する第3の位置と、前記支持体が前記第2の位置である場合に、前記媒体受け部が前記水平面上に沿って延在する第4の位置と、の間で回動可能に前記筐体に連結する回動可能な媒体受け部と、を備えることを特徴とする媒体処理装置。

【請求項 10】

前記筐体は、前記筐体の第1の外表面に沿う媒体入口と、前記第1の外表面と反対側に位置する前記筐体の第2の外表面に沿う媒体出口と、を備えることを特徴とする請求項9に記載の媒体処理装置。